

CSRビジョン

総合不動産事業を展開する三菱地所グループは、多岐にわたる「まちづくり」に関わる事業活動を行っています。「住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献」すること、それは三菱地所グループの基本使命であり、その実践こそが私たちのCSRです。

基本使命の実践のために「誠実な行動」、「お客さまからの信頼」、「活力のある職場」を行動憲章において宣言し、社会から信頼される企業であり続けるために積極的に取り組んでいきます。

私たちはまちづくりを通じて社会に貢献します

私たちは、住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献します。

お客さまからの 信頼

- お客さまとのコミュニケーション
- 安全・安心確保
- お客さまが感動される商品・サービスの提供
- 誠実な対応

誠実 な行動

- 社会とのコミュニケーション
- コンプライアンス
- コーポレート・ガバナンス
- 情報公開
- 環境配慮
- 社会貢献活動

活力 のある職場

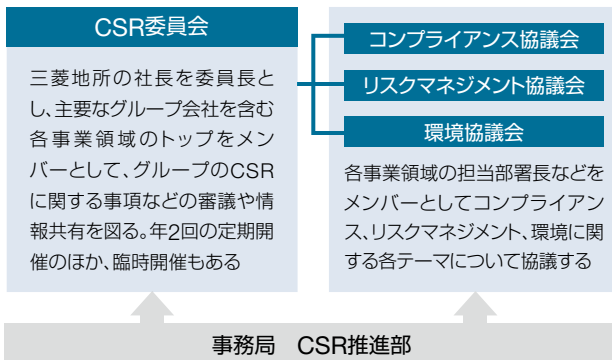
- 従業員とのコミュニケーション
- 高い価値を生み出す人材育成
- やりがいのある風土
- 安心して働ける職場
- 風通しの良い職場

三菱地所グループのCSR

CSR推進体制

三菱地所では、グループとしてCSRに対して積極的に取り組み、これを推進する体制を整備するため、2005年に「CSR推進部」を設置しました。その後同年9月に三菱地所グループ全体のCSRの推進を図るため、三菱地所の社長を委員長とする「CSR委員会」を設置するとともに、その事前協議の場として「コンプライアンス協議会」、「リスクマネジメント協議会」、「環境協議会」を設けています。

CSR推進体制



2006年度 CSR委員会開催概要

● 第1回（2006年7月）

- リスクマネジメント体制整備について
- コンプライアンス特別委員会の提言を受けた具体的な方策の進捗状況について ほか

● 第2回（2007年2月）

- コンプライアンス協議会規則の改正について
- 今後のCSR活動の目標と取り組み方針について ほか

※ 2007年2月開催のCSR委員会からは、コンプライアンス特別委員会の提言に基づき、2名の社外有識者にアドバイザーとして参加いただいています

コンプライアンス特別委員会とは

OAPレジデンスタワー土壌・地下水問題の反省を踏まえ、再発防止に向けたコンプライアンス体制のチェック、強化と改善に関する提言、ならびに企業体質の改善についての提言をいただくことを目的に、社外有識者からなる社長直轄の諮問委員会として2005年7～12月に設置されました。

Stakeholder OPINIONS

CSR委員会社外アドバイザーより



高巖氏
麗澤大学 国際経済学部 教授

委員が率直に意見を述べあい、形式的でない実態をともなった委員会です。リスクの洗い出しだけでなく、しっかりと効果について検証・フィードバックし、PDCAサイクルが機能しています。今後の取り組みが楽しみです。



江上 節子氏
早稲田大学大学院 公共経営研究科 客員教授

顧客視点に立脚した事業推進と企業経営のあり方について、グループ各社の経営陣が真剣に議論し、模索する委員会とその活動に高い期待を寄せています。CSR活動と事業との親和性を考え、地に足のついた展開を計画、今後の取り組みの継続と成果の行方を見つめていきます。

ご意見を受けて

グループの目標をもって推進します



飯塚 延幸
代表取締役
副社長執行役員
(CSR委員会 副委員長)

社外の方から忌憚のないご意見をいただくため、お二人には社外アドバイザーとしてご参加いただいています。グループ全体でCSRを推進していく姿勢に評価をいただいているが、今後とも各部門の事業活動のなかで実効性のある具体的な取り組みを推進し、グループ全体の目標をもって、継続してPDCAサイクルを機能させていきたいと考えています。

行動憲章の実践によるCSR活動の推進

三菱地所グループでは「基本使命」を実践するために、グループで共有する企業倫理規範として「行動憲章」を制定しています。また、日々の行動にあたっての具体的な行動の基準として「行動指針」を定めています。

2006年1月にまとめられたコンプライアンス特別委員会からの提言を真摯に受けとめ、今後も体質改善に向けた対策に取り組み、環境、社会貢献をはじめとするCSR活動を推進し、ステークホルダーとの対話を継続していきます。